

II 指定野菜価格安定対策事業に関する業務

1 制度の改正

業務対象年間の短縮

全ての業務区分について業務対象年間を短縮し、平成 16 年度を初年度とする新たな業務対象年間を設定し、改めて価格差補給交付金等の交付に関する予約申込みを受けて事業を実施した。

2 交付予約及び資金の造成

(1) 交付予約数量

ア 交付予約数量

16 年度事業に係る交付予約数量は、業務区分別に前年度と比較すると、増加した数量が 13 万 9 千トン、減少した数量が 7 万 3 千トン、差し引き 6 万 6 千トン増加して 271 万 9 千トンとなった。

イ 種別（対象出荷期間）別の交付予約数量

種別別の交付予約数量の多いものをみると、たまねぎ（即売）（8～4 月）、夏秋キャベツ（7～10 月）、冬キャベツ（1～3 月）等となっている（図 3）。また、前年度に比較して増加した主な種別は、春だいこん（4～6 月）（増加率 20.1%）、たまねぎ（即売）（8～4 月）（同 17.4%）、秋にんじん（8～10 月）（同 15.9%）等で、減少した種別は秋冬さといも（6～7 月）（減少率 37.0%）、秋冬さといも（1～3 月）（同 19.1%）、秋冬さといも（8～9 月）（減少率 13.7%）等が主なものである。

ウ 登録出荷団体等別の交付予約数量

16 年度事業に係る登録出荷団体別の交付予約数量をみると、数量の多い団体は①たまねぎ等の主産地であるホクレンの 475 千トン、②夏秋レタス、夏はくさい、夏秋キャベツの主産地である全農長野県本部の 244 千トン、③冬にんじん、冬キャベツ、春キャベツ等の主産地である全農千葉県本部の 204 千トン、④たまねぎ、秋冬はくさい等の主産地である全農兵庫県本部の 155 千トン、⑤冬キャベツ等の主産地である愛知県経済連の 149 千トンの順となっており、この 5 団体で全体の 45.1%を占めている（図 4）。また、前年度に対する伸び率をみると、北海道青果商協 26.2%、と最も大きく、次いで全農長崎県本部 19.4%、ホクレン 14.6%、全農岡山県本部 8.7%及び全農千葉県本部 5.6%が続いている。

(2) 資金造成額

ア 資金造成額

(ア) 16 年度事業に係る資金造成総額は 1,059 億円で、前年度に比べ 13 億円、1.3%増加した。

(イ) 資金造成については、昭和 54 年度から平成 13 年度までは国の直接補助の 2 分の 1 を限度として国庫債務負担行為による造成が行われていたが、平成 14 年度には国の直接補助の 3 分の 2 を限度として国庫債務負担行為による造成が行われた。

さらに、平成 15 年度からは国から道府県への間接補助がなくなったことから、直接補助の 2 分の 1 を限度として国庫債務負担行為による造成となった。また、昭和 55 年度からは道府県の補助（国の間接補助分を除く）の 4 分の 1 を限度として道府県の債務負担行為による造成が導入された。なお、平成 16 年度の資金造成額を現金分と債務負担行為分とに区分してみると、現金による造成が 720 億 8,443 万円で、全体の 68.1% を占めており、残りは国庫債務負担行為（327 億 5,759 万円、30.9%）、道府県債務負担行為（（北海道、青森県、福島県、長野県及び熊本県）10 億 2,411 万円で 1.0%）となっている（表 2）。

表 2 造成区分の資金造成額 (単位：千円、%)

内 訳		15 年 度		16 年 度	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
資 金 造 成 額		104,557,931	100.0	105,866,123	100.0
内 訳	うち、現金	71,246,923	68.1	72,084,426	68.1
	国庫債務負担行為	32,396,591	31.0	32,757,592	30.9
	県債務負担行為	914,417	0.9	1,024,105	1.0

イ 種別（対象出荷期間）別の資金造成額

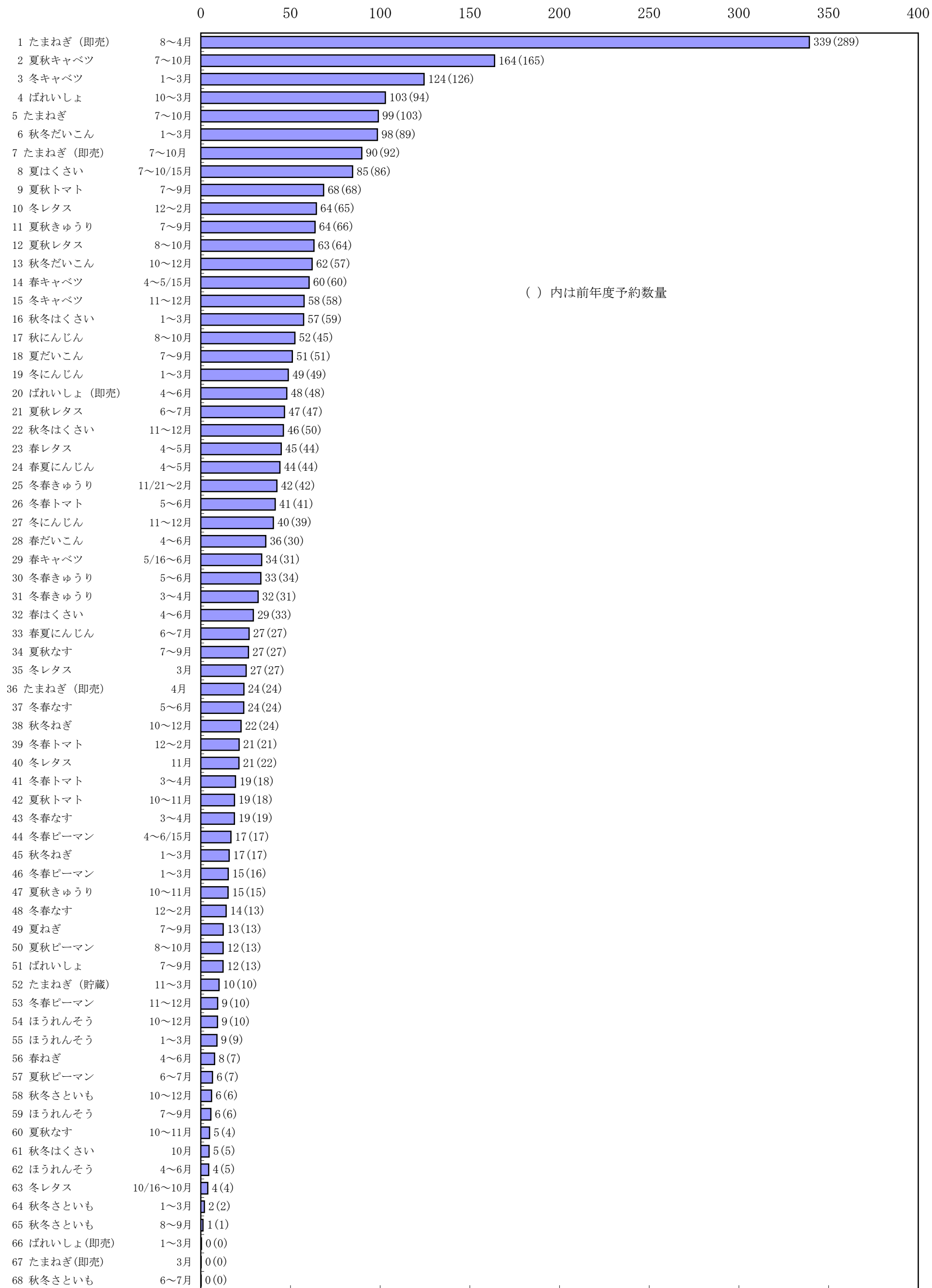
種別別に資金造成額の大きいものをみると、最も大きいものは冬レタス（12～2月）52 億円、たまねぎ（即売）（8～4月）52 億円、夏秋トマト（7～9月）44 億円となっており、次いで冬春きゅうり（11/21～2月）41 億円、夏秋キャベツ（7～10）41 億円の順となっている（図 5）。また、前年度に比べ伸び率の大きいものは春だいこん（4～6月）20.8%、冬春なす（12～2月）19.5%、たまねぎ（8～4月）17.3%、夏秋なす（10～11月）15.9%、秋にんじん（8～10月）15.3%となっている。

ウ 登録出荷団体等別の資金造成額

登録出荷団体別の資金造成額の大きい主な団体は、①たまねぎ等の主産地であるホクレンの 81 億円、②春キャベツ、冬キャベツ、冬にんじん等の主産地である全農千葉県本部が 81 億円、③夏秋キャベツ、夏はくさい及び夏秋レタスの主産地である全農長野県本部が 73 億円、④たまねぎ、冬レタス等の主産地である全農兵庫県本部が 62 億円、⑤夏秋トマト、冬春トマト等の主産地熊本県経済連が 61 億円となっている（図 6）。

図3 種別（対象出荷期間）別の交付予約数量

千トン



() 内は前年度予約数量

図4 登録出荷団体別の交付予約数量

千トン

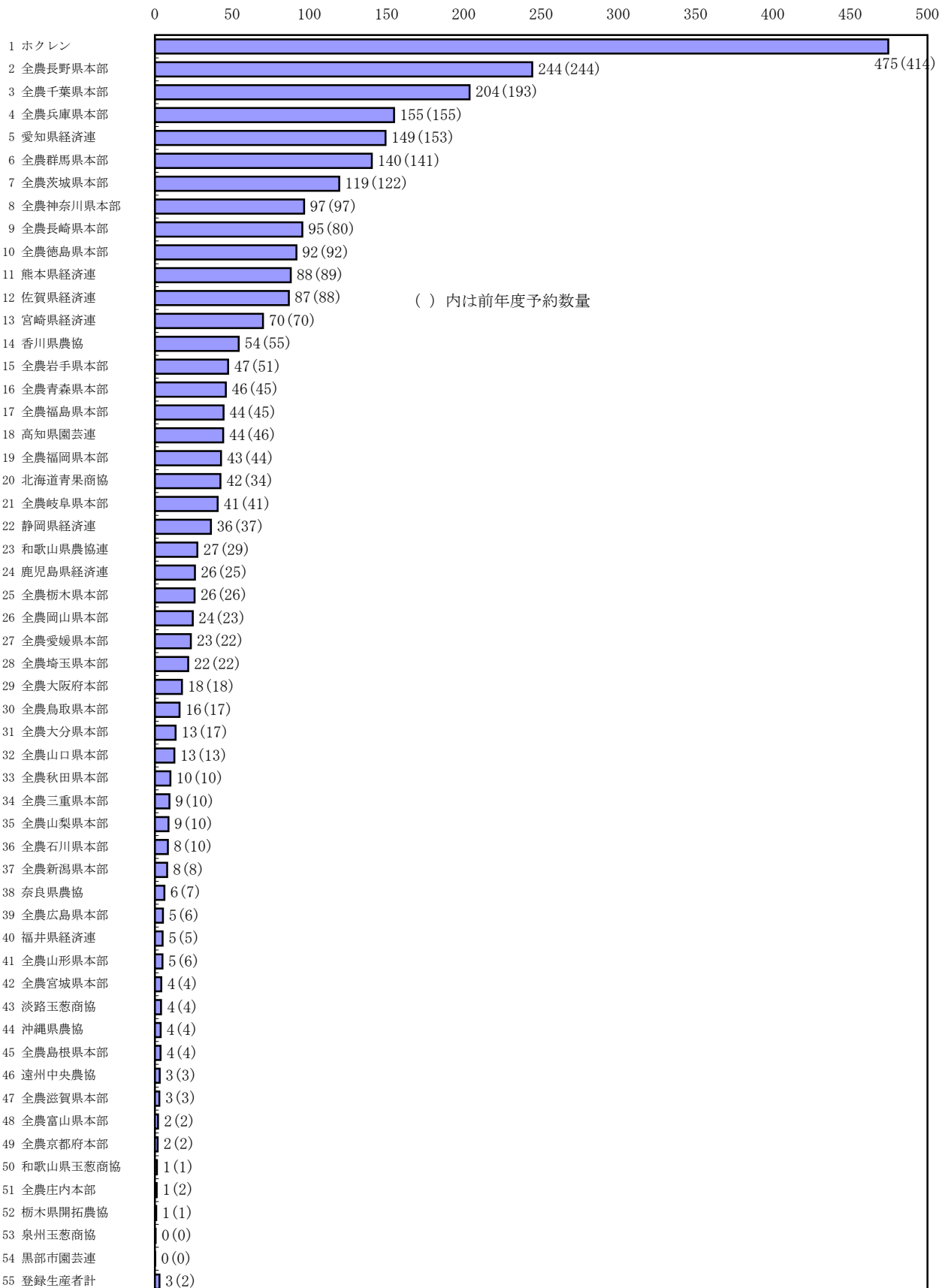
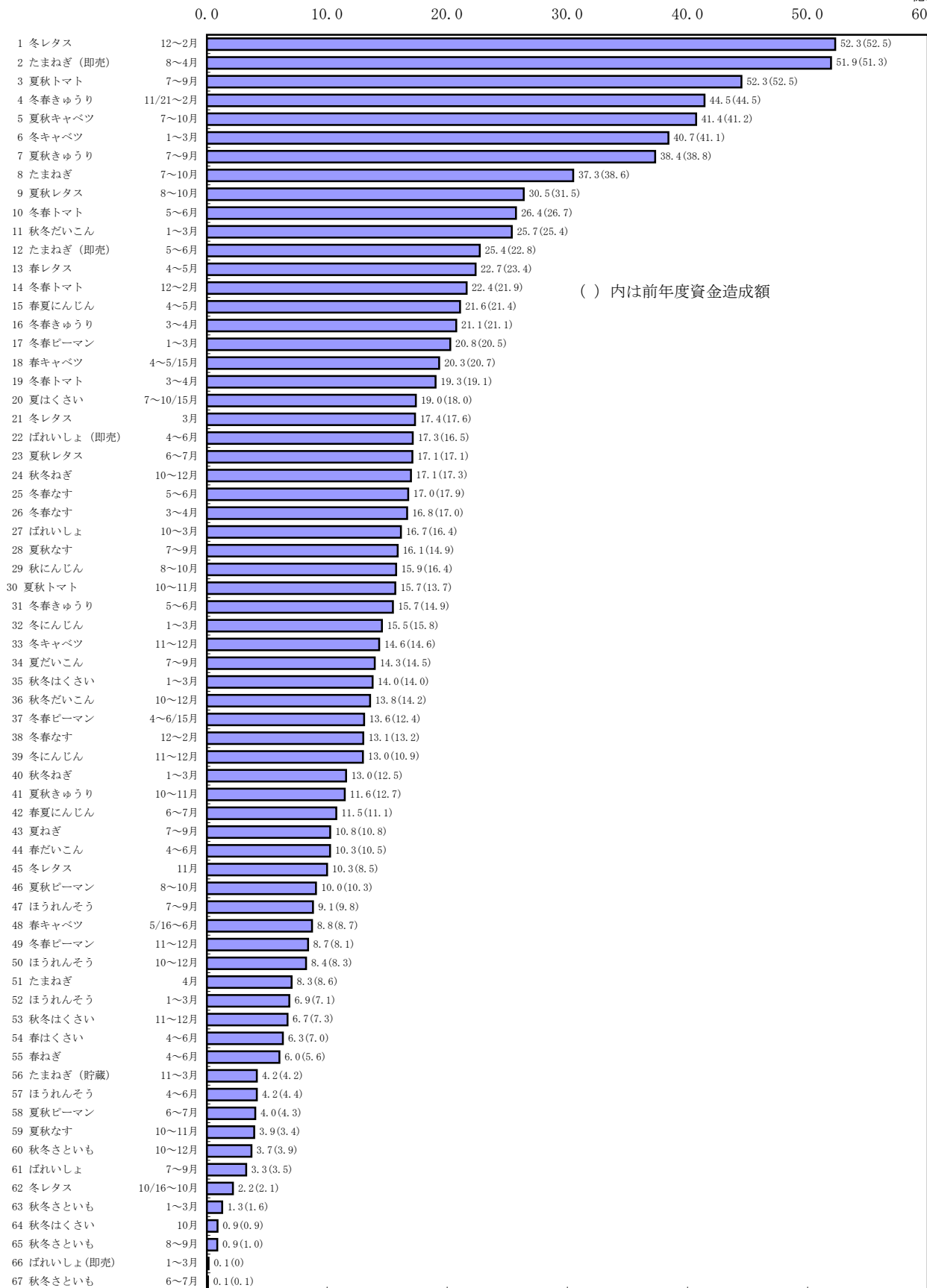


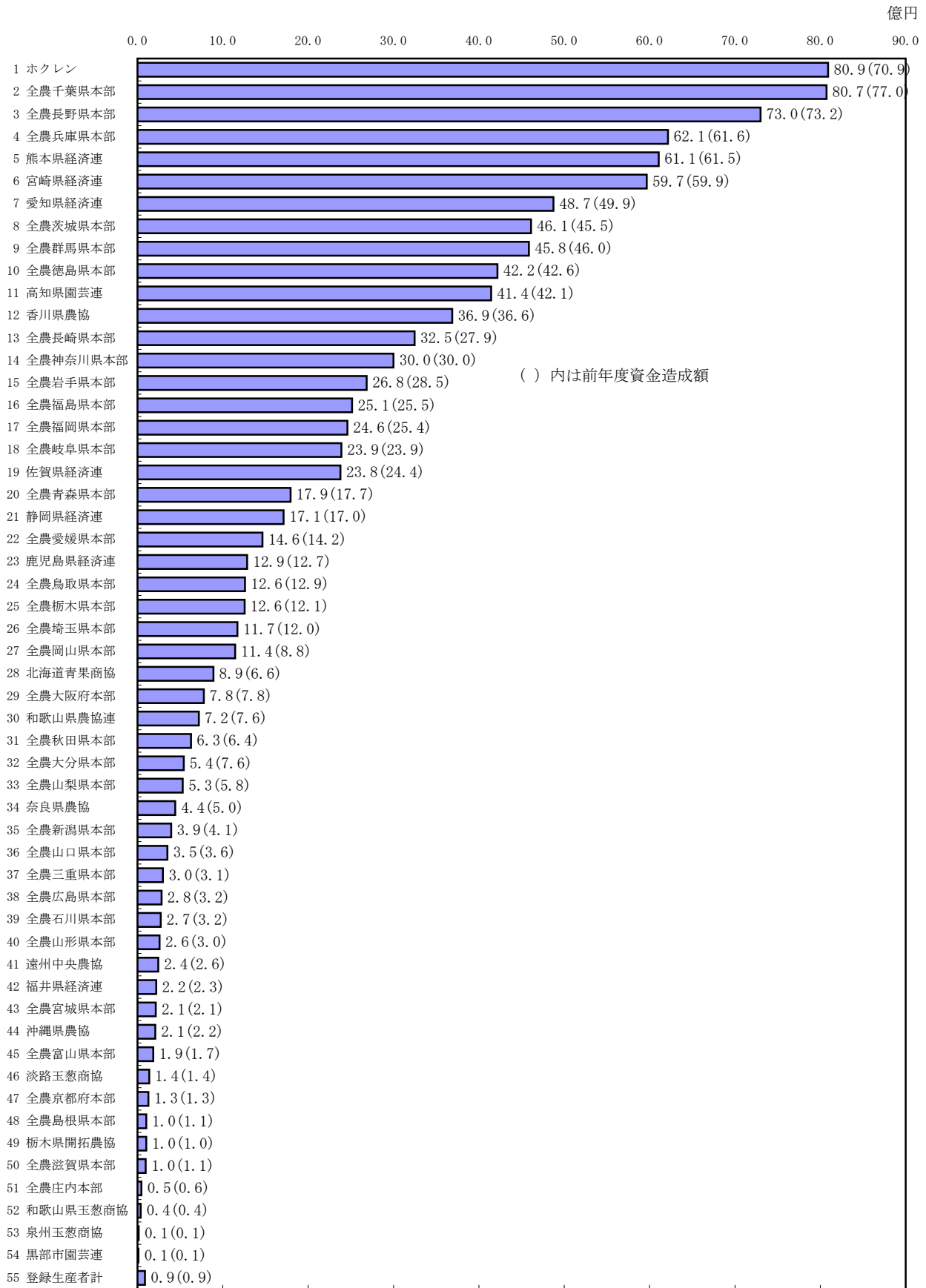
図5 種別（対象出荷期間）別の資金造成額

億円
60.0



() 内は前年度資金造成額

図6 登録出荷団体別の資金造成額



3 価格差補給交付金等の交付

(1) 平均販売価額等の算定

価格差補給交付金等の交付の基礎となる出荷数量、平均販売価額、交付金単価等の算定は、16年度中に対象出荷期間が始まった対象野菜について、業務区分ごと、旬又は月(さといも、たまねぎ及びばれいしょ)ごとに延べ4,693旬・月について行った。これに用いた16年度の仕切データ件数は246万件であり、このうち99.9%がベジフルネット端末を通じた収集となった。

このうち、平均販売価額が保証基準額を下回って価格差補給交付金等の交付が行われたものは延べ1,214旬・月で全体の25.9%(前年度は延べ1,589旬・月で同33.9%)であった。

さらに、平均販売価額が最低基準額をも下回ったものは、延べ72旬・月で全体の1.5%(前年度は延べ245旬・月で同5.2%)であった(表3)。

(2) 価格差補給交付金等の交付額

ア 価格差補給交付金等交付総額

(ア) 16年度事業における価格差補給交付金等の交付総額は、132億円(うち一般補給交付金等131億5千万円、特別補給交付金等5千万円)で、資金造成額に対する交付額の比率(交付率)は12.5%であった。

なお、昭和51~平成16年度の平均交付率は15.4%となっている(表4)。

(イ) 指定野菜別に交付額の多いものは、レタスが30億8千万円で最も多く(交付率20.9%)、次いできゅうり23億8千万円(同18.8%)、にんじん17億5千万円(同23.3%)、ピーマン12億5千万円(同22.9%)、トマト9億8千万円(同7.8%)等となっている(図7・表5)。

また、資金造成額に対する交付率では、にんじんが23.3%で最も高く、次いでピーマン22.9%、レタス20.9%、はくさい20.3%等が平均交付率を上回る交付率となっている(表5)。

表3 平均販売価額算定旬数

年 度	対象野菜区分	対象出荷期間の延べ旬(月)数	内 訳			
			平均販売価額が保証基準額以上であった旬月数	平均販売価額が保証基準額を下回った旬月数	(参 考) 左のうち平均販売価額が最低基準額をも下回った旬月数	出荷実績が無く、平均販売価額の算定も無かった旬月数
平成 16年度	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ以外の指定野菜	4,555 (100.0%)	2,659 (58.4%)	1,177 (25.8%)	69 (1.5%)	719 (15.8%)
	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ	138 (100.0%)	66 (47.8%)	37 (26.8%)	3 (2.2%)	35 (25.4%)
	計	4,693 (100.0%)	2,725 (58.1%)	1,214 (25.9%)	72 (1.5%)	754 (16.1%)
平成 15年度	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ以外の指定野菜	4,555 (100.0%)	2,323 (51.0%)	1,543 (33.9%)	240 (5.3%)	689 (15.1%)
	さといも、たまねぎ及びびばれいしょ	138 (100.0%)	55 (39.9%)	46 (33.3%)	5 (3.6%)	37 (26.8%)
	計	4,693 (100.0%)	2,378 (50.7%)	1,589 (33.9%)	245 (5.2%)	726 (15.5%)

注：さといも、たまねぎ及びびばれいしょは、月数。その他の品目は旬数。

表4 価格差補給交付金等交付額及び交付率の推移

(単位：千円、%)

年度	区分	価格差補給交付金等交付額	交付率
昭和	51年度	2,231,282	8.7
	52年度	10,746,613	31.4
	53年度	20,479,139	40.4
	54年度	14,128,250	23.4
	55年度	7,255,577	11.0
	56年度	12,913,990	17.5
	57年度	16,081,755	20.5
	58年度	4,391,659	5.4
	59年度	17,293,106	20.2
	60年度	19,386,921	21.6
	61年度	25,897,995	29.3
	62年度	12,669,217	14.3
	63年度	7,995,175	9.5
平成	元年度	5,776,084	6.9
	2年度	2,561,168	3.0
	3年度	3,698,177	4.3
	4年度	14,900,451	17.4
	5年度	5,309,363	6.1
	6年度	5,259,868	6.1
	7年度	6,435,671	7.3
	8年度	14,454,904	15.5
	9年度	11,314,439	12.1
	10年度	10,369,189	10.8
	11年度	14,846,795	15.1
	12年度	16,639,939	16.9
	13年度	26,594,382	27.0
	14年度	14,792,407	14.8
	15年度	19,294,788	18.5
	16年度	13,202,399	12.5
昭和51～平成16年度平均交付率			15.4

図7 価格差補給交付金等の指定野菜別割合

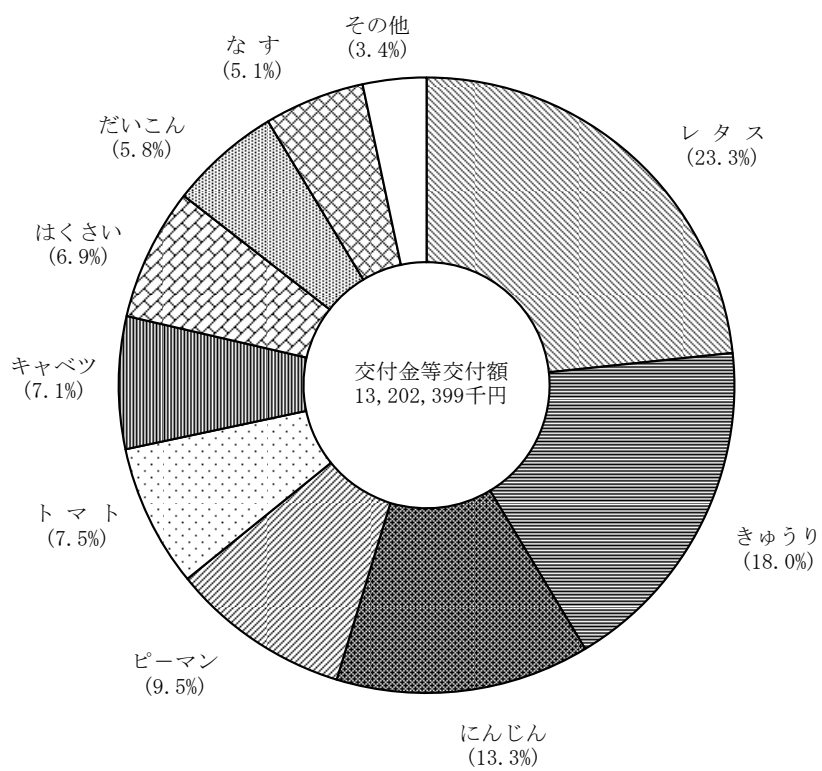


表5 指定野菜別の価格差補給交付金等交付額

(単位：千円、%)

指 定 野 菜	価格差補給交付金等交付額			造成額に対する交付率
	一 般	特 別	計	
キ ャ ベ ツ	900,831	40,314	941,145	7.7
き ゆ う り	2,378,426	—	2,378,426	18.8
さ と い も	58,909	—	58,909	9.9
だ い こ ん	763,436	4,806	768,242	12.2
た ま ね ぎ	21,418	1,454	22,872	0.2
ト マ ト	983,818	—	983,818	7.8
な す	677,452	—	677,452	10.2
に ん じ ん	1,753,571	—	1,753,571	23.3
ね ぎ	133,713	—	133,713	3.0
は く さ い	912,583	2,718	915,301	20.3
ば れ い し ょ	100,383	—	100,383	2.7
ピ ー マ ン	1,254,583	—	1,254,583	22.9
ほうれんそう	131,705	—	131,705	4.7
レ タ ス	3,082,279	—	3,082,279	20.9
合 計	13,153,107	49,292	13,202,399	12.5

イ 種別（対象出荷期間）別の交付額

種別（対象出荷期間）別の交付額は、冬レタス（12～2月）の11億2千万円が最も多く、次いで冬春きゅうり（11/21～2月）の10億9千万円、夏秋レタス（8～10月）の10億4千万円、秋にんじん（8～10月）の8億6千万円、夏はくさい（7～10/15月）の7億4千万円等となっている。

また、資金造成額に対する交付率では、冬春ピーマン（4～5月）の56.1%が最も高く、次いで秋にんじん（8～10月）の54.9%、夏はくさい（7～10/15月）の42.4%、夏秋ピーマン（6～7月）の42.3%、夏秋レタス（8～10月）の39.3%等となっている（表6）。

ウ 登録出荷団体等別の交付額

登録出荷団体等別に交付額をみると、交付額の多い団体等は、①夏秋レタス、夏はくさいを主体とした全農長野県本部が23億6千万円で最も多く、次いで②冬春きゅうり、冬春ピーマンを主体とした宮崎県経済連が12億4千万円、③冬春きゅうり、春夏にんじんを主体とした全農徳島県本部が7億7千万円、④冬春きゅうり、冬春ピーマンを主体とした高知県園芸連が7億4千万円、⑤秋にんじん、夏だいこんを主体としたホクレンが7億3千万円の順となっており、この5団体で全体の交付額の44%を占めている（表7）。

表6 種別（対象出荷期間）別の価格差補給交付金等交付額

対象野菜	種別	対象出荷期間	交付金等交付額 (千円)	交付率 (%)
キャベツ	春	4.1~5.15	371,137	19.2
		5.16~6.30	55,823	6.4
		小計	426,960	15.2
	夏秋	7.1~10.31	514,185	12.6
	冬	11.1~12.31	0	0.0
		1.1~3.31	0	0.0
小計		0	0.0	
計		941,145	7.7	
きゅうり	夏秋	7.1~9.30	467,810	12.5
		10.1~11.30	261	0.0
		小計	468,071	9.6
	冬春	11.21~2.28	1,085,486	26.2
		3.1~4.30	636,967	30.7
		5.1~6.30	187,902	12.1
小計	1,910,355	24.6		
計		2,378,426	18.8	
さといも	秋冬	8.1~9.30	6,095	7.0
		10.1~12.31	24,709	6.7
		1.1~3.31	26,919	21.2
		6.1~7.31	1,186	13.8
	計		58,909	9.9
だいこん	春	4.1~6.30	300,523	29.3
	夏	7.1~9.30	339,037	24.3
	秋冬	10.1~12.31	31,546	2.3
		1.1~3.31	97,136	3.8
小計	128,682	3.3		
計		768,242	12.2	
たまねぎ	即売	8.1~4.30	0	0.0
		4.1~4.30	22,872	3.2
		5.1~6.30	0	0.0
		小計	22,872	0.3
	貯蔵	7.1~10.31	0	0.0
計		22,872	0.2	
トマ (ミニ)	夏秋	7.1~9.30	553,208	13.6
		7.1~9.30	60,791	16.1
		小計	613,999	13.8
	(ミニ)	10.1~11.30	0	0.0
		10.1~11.30	0	0.0
		小計	0	0.0
	(ミニ)	12.1~2.28	357	0.0
		12.1~2.28	4,117	0.6
		小計	4,474	0.2
	(ミニ)	3.1~4.30	0	0.0
		3.1~4.30	137,384	21.2
		小計	137,384	7.2
(ミニ)	5.1~6.30	86,759	4.0	
	5.1~6.30	141,202	33.0	
	小計	227,961	8.9	
計		983,818	18.4	
なす	夏秋	7.1~9.30	188,873	11.9
		10.1~11.30	25,780	6.5
		小計	214,653	10.8
	冬春	12.1~2.28	142,288	10.9
		3.1~4.30	197,589	11.9
		5.1~6.30	122,922	7.3
小計	462,799	10.0		
計		677,452	10.2	

対象野菜	種別	対象出荷期間	交付金等交付額 (千円)	交付率 (%)	
にんじん	春夏	4.1~5.31	710,870	33.7	
		6.1~7.31	177,894	16.5	
		小計	888,764	27.9	
	秋	8.1~10.31	864,807	54.9	
		(金時) (除金時)	11.1~12.31	0	0.0
			11.1~12.31	0	0.0
	11.1~12.31		0	0.0	
	小計	0	0.0		
	冬	1.1~3.31	0	0.0	
		1.1~3.31	0	0.0	
1.1~3.31		0	0.0		
小計	0	0.0			
計		1,753,571	23.3		
ねぎ	春	4.1~6.30	18,115	3.0	
	(白) (青)	7.1~9.30	46,771	6.9	
		7.1~9.30	23,451	9.3	
		7.1~9.30	20,526	21.6	
	小計	90,748	8.8		
	(調製) (白) (青)	10.1~12.31	5,236	0.9	
		10.1~12.31	0	0.0	
		10.1~12.31	0	0.0	
	小計	5,236	0.3		
	(調製) (白) (青)	1.1~3.31	14,241	4.9	
1.1~3.31		0	0.0		
1.1~3.31		0	0.0		
小計	5,373	4.9			
計		19,614	1.7		
計		133,713	3.0		
はくさい	春	4.1~6.30	118,689	18.8	
	夏	7.1~10.15	736,441	42.4	
	秋冬	10.1~10.31	386	0.4	
		11.1~12.31	0	0.0	
		1.1~3.31	59,785	4.3	
小計	60,171	2.8			
計		915,301	20.3		
ばれいしょ	4.1~6.30	98,413	5.7		
	7.1~9.30	1,853	0.6		
	10.1~3.31	0	0.0		
	1.1~3.31	117	0.8		
	計	100,383	2.7		
ピーマン	夏秋	6.1~7.31	170,531	42.3	
	8.1~10.31	247,937	27.3		
	小計	418,468	31.9		
	冬春	11.1~12.31	4,248	0.5	
		1.1~3.31	158,909	7.8	
4.1~5.31		671,301	56.1		
6.1~6.15	1,657	1.5			
小計	836,115	20.0			
計		1,254,583	22.9		
ほうれんそう	7.1~9.30	61,403	7.0		
	10.1~12.31	17,409	2.1		
	1.1~3.31	20,116	2.9		
	4.1~6.30	32,777	7.9		
	計	131,705	4.7		
レタス (非結球)	春	4.1~5.31	605,955	27.1	
	夏秋	6.1~7.31	299,447	18.9	
		6.1~7.31	6,624	5.4	
		小計	306,071	17.9	
	(非結球)	8.1~10.31	1,002,976	42.1	
		8.1~10.31	33,365	13.2	
		小計	1,036,341	39.3	
	冬	10.16~10.31	0	0.0	
		11.1~11.30	0	0.0	
		12.1~2.28	1,122,477	21.5	
3.1~3.31	11,435	0.7			
小計	1,133,912	13.9			
計		3,082,279	20.9		
総計		13,202,399	12.5		

表7 登録出荷団体等別の価格差補給交付金等交付額

(単位：千円、%)

登録出荷団体等	交付金等交付額	交付率	登録出荷団体等	交付金等交付額	交付率
ホクレン	727,443	9.0	全農滋賀県本部	3,380	3.5
北海道青果商協	278,873	31.3	全農京都府本部	6,294	4.9
(北海道計)	1,006,316	11.2	全農大阪府本部	15,020	1.9
全農青森県本部	246,086	13.7	泉州玉葱商協	0	0.0
全農岩手県本部	353,931	13.2	(大阪府計)	15,020	1.9
全農宮城県本部	12,622	5.9	全農兵庫県本部	482,986	7.8
全農秋田県本部	40,074	6.4	淡路玉葱商協	0	0.0
全農山形県本部	25,632	9.9	(兵庫県計)	482,986	7.6
全農庄内本部	370	0.8	奈良県農協	24,127	5.5
(山形県計)	26,002	8.5	和歌山県農協連	60,460	8.4
全農福島県本部	282,240	11.2	和歌山県玉葱商協	0	0.0
全農茨城県本部	577,591	12.5	(和歌山県計)	60,460	8.0
全農栃木県本部	118,986	9.5	全農鳥取県本部	42,668	3.4
栃木県開拓農協	712	0.7	全農島根県本部	2,315	2.2
(栃木県計)	119,698	8.8	全農岡山県本部	83,412	7.3
全農群馬県本部	531,668	11.6	全農広島県本部	29,820	10.6
全農埼玉県本部	139,436	11.9	全農山口県本部	18,907	5.4
全農千葉県本部	588,453	7.3	全農徳島県本部	766,448	18.2
全農神奈川県本部	221,004	7.4	香川県農協	427,219	11.6
全農新潟県本部	19,827	5.0	愛媛県農協連	187,464	12.8
全農富山県本部	218	0.1	高知県園芸連	740,180	17.9
黒部市園芸連	0	0.0	全農福岡県本部	231,241	9.4
(富山県計)	218	0.1	佐賀県経済連	122,355	5.1
全農石川県本部	3,016	1.1	全農長崎県本部	365,902	11.3
福井県経済連	1,075	0.5	熊本県経済連	558,124	9.1
全農山梨県本部	47,503	9.0	全農大分県本部	103,618	19.1
全農長野県本部	2,359,530	32.3	宮崎県経済連	1,239,226	20.8
全農岐阜県本部	333,541	14.0	鹿児島県経済連	182,544	14.2
静岡県経済連	321,174	18.8	沖縄県農協	60,865	29.2
遠州中央農協	957	0.4	登録生産者計	14,472	13.0
(静岡県計)	322,131	16.5	総計	13,202,399	12.5
愛知県経済連	185,601	3.8			
全農三重県本部	15,789	5.3			

(3) 計画出荷の認定に係る価格差補給交付金等の交付状況等

ア 特別補給交付金等の交付

重要野菜（キャベツ、たまねぎ、秋冬だいこん及び秋冬はくさい）については、業務区分及び登録出荷団体ごとに農林水産省生産局長の承認を受けた供給計画数量とそれに見合う出荷実績数量との差がおおむね 5%の範囲内であるとして、地方農政局長等の認定が行われた場合には、一般補給交付金等の 9 分の 1 の額を特別補給交付金等として交付することとしている。

16 年度事業において、この供給計画出荷に係る認定の対象（価格差補給交付金等の交付の対象となったもの）となった登録出荷団体等は延べ 86 団体等（前年度は 136 団体等）で、対前年度の約 6 割であった。更に、このうち特別補給交付金等が交付された団体等は延べ 23 団体等（前年度は 38 団体等）で、交付された特別補給交付金等の総額は 49,292 千円（前年度は 116,446 千円）であった（表 8）。

イ 一般補給交付金等の一部交付

重要野菜については、計画出荷の認定にあわせて、地方農政局長等が出荷実績数量と供給計画数量との差の程度に応じた認定が行われ、その乖離の程度（5 段階）に応じて一般補給交付金等の一部を減額して交付することとしている（業務方法書第 115 条）。

16 年度事業においてこの一部交付の認定の対象となった登録出荷団体等は延べ 140 団体等（前年度 218 団体等）であった。このうち延べ 54 団体等（構成比 39%）が一部減額交付となり、減額された金額は 23,600 千円（前年度は 26,023 千円）で交付予定額に対して 2.09%の減額となった（表 9）。

表8 特別補給交付金等の交付状況

対象野菜	対象出荷期間	登録出荷団体等			特別補給 交付金等 (千円)
		計画出荷のAラン ク認定された延べ 団体数 (A)	左のうち特別補給 交付金等が交付さ れたもの (B)	B/A (%)	
春キャベツ	4～5/15月	15	7	47	24,121
	5/16～6月	9	3	33	4,062
夏秋キャベツ	7～10月	17	1	6	12,131
冬キャベツ	11～12月	0	0	0	0
	1～3月	0	0	0	0
秋冬だいこん	10～12月	13	5	38	897
	1～3月	15	3	20	3,909
たまねぎ	4月	5	1	20	1,454
	5～6月	0	0	0	0
	7～10月	0	0	0	0
	11～3月	0	0	0	0
	8～4月	0	0	0	0
秋冬はくさい	10月	0	0	0	0
	11～12月	0	0	0	0
	1～3月	12	3	25	2,718
計	a	86	23	27	49,292
前年度	b	136	38	28	116,446
対前年度	a/b	0.6	0.6	—	0.4

表9 一般補給交付金等の一部交付の状況

(単位：団体、千円、%)

認定区分	登録出荷団体等		当該登録出荷団体等の一般補給交付金等					b' / a
	延べ 団体等数	構成比	交付予定額 a	不交付額 b			交付額	
				計画出荷の 認定に係る もの b'	辞退に係る もの b''	計 b		
A	86	61	950,801	—	1,109	1,109	949,692	—
B	24	17	132,851	13,294	50	13,344	119,507	10.01
C	16	11	33,787	6,766	37	6,803	26,984	20.03
D	11	8	8,469	2,547	9	2,556	5,913	30.07
E	3	2	2,479	993	4	997	1,482	40.06
F	0	0	0	0	0	0	0	0.00
計(A)	140	100	1,128,387	23,600	1,209	24,809	1,103,578	2.09
前年度(B)	218	100	2,311,148	26,023	4,063	30,086	2,281,062	1.13
対前年度比 (A)/(B)	0.6	—	0.5	0.9	0.3	0.8	0.5	—

表10 野菜生産出荷安定資金の収支

参考

(単位：円)

区分	資金区分			計	指定特別資金	指定特別業務資金	計
	指定業務資金	指定助成業務資金	指定共通業務資金				
平成15年度事業末資金残高	16,126,162,000	16,125,218,000	53,342,735,000	85,594,115,000	0	23,320,770,824	23,320,770,824
各資金から指定特別業務資金へ 積み立てる額	△147,559,000	△345,506,000	—	△493,065,000	—	493,065,000	493,065,000
負担金等払戻金	△197,510,000	—	—	△197,510,000	—	—	—
平成16年度事業資金造成額	4,395,661,500	4,394,471,500	12,172,450,000	20,962,583,000	—	—	—
内訳	負担金	4,092,428,000	—	—	4,092,428,000	—	—
	補助金及び納付金	—	3,903,111,500	546,137,000	4,449,248,500	6,553,084,000	—
	指定特別業務資金から他の資金 へ繰入れる額	303,233,500	491,360,000	4,712,228,000	5,506,821,500	—	△5,507,758,500
	指定特別資金から他の資金へ 繰入れる額	—	0	6,553,084,000	6,553,084,000	△6,553,084,000	—
	国庫債務負担行為額	—	—	361,001,000	361,001,000	—	—
平成16年度事業資金造成総額	20,176,754,500	20,174,183,500	65,515,185,000※1	105,866,123,000	—	—	—
平成16年度事業に係る交付金	△2,587,573,000	△2,586,255,000	△8,028,571,000	△13,202,399,000	—	—	—
利益相当額から受入	—	—	—	0	—	622,010,591	622,010,591
指定特別業務資金の払戻金	—	—	—	—	—	△30,036,500	△30,036,500
過年度返還金の受入	—	—	—	—	—	6,618,000	6,618,000
指定特別業務資金から契約指定特別業務資金へ繰入れる額	—	—	—	—	—	△244,500	△244,500
契約指定特別業務資金から指定特別業務資金へ繰入れる額	—	—	—	0	—	18,772,000	18,772,000
平成16年度事業末資金残高	17,589,181,500	17,587,928,500	57,486,614,000	92,663,724,000	0	18,923,196,915	18,923,196,915

※1資金造成総額計105,866,123,000円には下欄の債務負担行為額33,781,697,000円を含む。

国庫債務負担行為額

債務負担額
32,757,592,000

道府県債務負担行為額

導入した道府県	債務負担額
北海道	414,457,000
青森県	90,063,000
福島県	118,093,000
長野県	350,000,000
熊本県	51,492,000
計	1,024,105,000

4 野菜生産出荷安定資金の収支

指定野菜価格安定対策事業に係る資金のうち、登録出荷団体等からの負担金を管理している指定業務資金、道府県からの納付金を管理している指定助成業務資金及び国からの補助金を管理している指定共通業務資金の収支の状況を年度事業単位で見ると（表10）、前年度事業末資金残高 856 億円から 16 年度事業の予約数量減に伴う指定特別業務資金への積立 5 億円、負担金の返戻 2 億円をそれぞれ取り崩し、新たに 16 年度事業を開始するに当たり必要とされる資金として指定特別業務資金からの繰入額 55 億円、指定特別資金からの繰入額 66 億円、登録出荷団体等からの負担金 41 億円、国からの補助金及び道府県からの納付金 44 億円をそれぞれ造成し、国庫債務負担行為 4 億円を増額して、資金造成総額は 1,059 億円（国庫・道府県債務負担行為 338 億円含む。）となったが、本年度事業の価格差補給交付金等の交付額は 132 億円となり、差引き 16 年度事業終了時点の資金残高は 927 億円となった。